

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護学科 (三年課程)	夜・通信	9 単位	9 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

【<https://kumamoto.hosp.go.jp/school/>】

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議、入学試験委員会
役割	<p>学校運営の円滑化および適正化を図るために、学則に基づき学校運営会議を設置している。また、会議に多様な意見を反映させるために複数の外部委員を任命し、外部委員らご自身の経験を活かして、社会や産業界のニーズをふまえた意見を学校運営に反映することで、更なる学校運営の適正化が図られると期待される。</p> <p>(熊本医療センター附属看護学校 学校運営会議規程 第3条) (審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 一 本学校の規程の制定改廃 二 本学校の予算の執行計画 三 教育課程の編成に関する事項 四 各年度の教育計画に関する事項 五 学校の講師・実習施設の選定に関する事項 六 学生募集及び入学に関する事項 七 学生の単位・卒業認定に関する事項 八 学生の休学、復学、退学に関する事項 九 転入学者等の既習単位等認定に関する事項 十 学生の就職に関する事項 十一 学校運営の評価に関する事項 十二 学校の施設設備に関する事項 十三 その他学校の運営に関し重要と認める事項

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考(学校と関連する経歴等)
熊本医療センター 統括診療部長	2019.04.01 ～2020.03.31	「疾病論Ⅱ(栄養・代謝・排泄)」講師として講義を実施
熊本医療センター 看護部長	2019.04.01 ～2020.03.31	「看護管理と看護研究」講師として講義を実施
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業計画の作成に際して、毎年 10 月前後に当該年度のカリキュラム (* 1) 評価を行い、授業内容や科目進度などを検討し、その内容を次年度の授業計画に反映している。 ○ 授業計画は「○年度シラバス」として冊子にして学生に配布している。シラバスには、各科目の到達目標、成績評価の方法だけでなく、本校の教育課程、教育目的・目標、分野の考えかたをはじめ、単位認定評価基準計画を掲載している。 ○ 臨地実習については、シラバス以外に、実習要項を作成し、実習の心得や、学習すべき内容や方法、実習評価について記載し、学生が読んでわかるよう評価・修正している。 ○ シラバスおよび実習要項の作成は毎年 3 月末である。 教員が担当するシラバスについて一部ホームページ上で公表している。 作成したシラバスは年度始め、4 月始業日に学生に配布し、当該年度の教育進度等を説明している。 <p>(* 1) ここでいう「カリキュラム」は学生の履修にかかわる講義・演習・臨地実習、その他の教育活動すべてを含むもの。</p>	
授業計画書の公表方法	https://kumamoto.hosp.go.jp/school/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業科目の評価及び単位修得の認定 (学則第 18 条) 授業科目を履修しその試験に合格した者には所定の単位を与える。 2 所定の授業時間の 3 分の 2 以上出席した授業科目に限り、評価を受けることができる。 3 授業科目の評価は優 (80 点以上)、良 (70 点から 79 点)、可 (60 点から 69 点) 及び不可 (60 点未満) とし、可以上を合格とする。 ○ 授業科目の評価については、科目ごとに、筆記試験、レポート、技術試験等の評価方法をシラバスに記載している。 ○ 実技試験は、予め評価項目を記載した評価表を配布し、学生に説明している。評価担当が複数になるため、試験監督者により差異が生じないように技術試験前後に打合せを実施している。教員会議で必要に応じて審議し、最終的に会議の合議を経て、結果を承認している。 ○ 実習については、臨床における実習指導者、当該実習場所の看護管理者、実習担当教員で客観的な評価を行っている。 ○ 履修認定は、年度末の学校運営会議において、当該年度に履修予定科目について学生個々の履修状況を確認し承認している。 	

<p>(単位修得の認定：履修規程)</p> <p>第 15 条 各授業科目の単位修得の認定に関わる試験およびその他の審査に合格した者には、学校が別に定めた単位認定者が単位修得の認定を行う。</p> <p>(卒業：学則)</p> <p>第 17 条 本学校における授業科目、単位数及び時間は、別表のとおりとする。</p> <p>2 別表中、講義及び演習については 15 時間又は 30 時間、実験、実習及び実技については 30 時間、臨地実習については 45 時間をもって 1 単位とする。</p> <p>第 24 条 学校長は、第 17 条に定める授業科目の単位修得の認定を受けた者について、学校運営会議の議を経て、卒業を認定する。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○ 履修科目の成績評価を 100 点満点で点数化している。授業科目の評価は優 (80 点以上)、良 (70 点から 79 点)、可 (60 点から 69 点) 及び不可 (60 点未満) とし、可以上を合格とする。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://kumamoto.hosp.go.jp/school/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業については学則第 24 条に「授業科目の単位修得の認定を受けた者について、学校運営会議の議を経て、卒業を認定する」と定めている。例年、看護師国家試験が実施される 2 月上旬に、国家試験受験資格を確認することと合わせて卒業認定を実施している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://kumamoto.hosp.go.jp/school/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf
財産目録	
事業報告書	https://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf
監事による監査報告（書）	https://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000/98 単位時間/単位	1,620 時間 62単位	345 時間 13単位	1,035 時間 23単位	時間	時間
			98単位 3,000時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		120人	0人	9人	153人	162人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業方法は、概ね講義・演習（グループワーク、校内演習（技術等））、臨地実習で区分している。授業科目や授業内容は、看護師国家試験の受験資格に必要なものとなっている。年間の授業計画は教育目的・目標を達成するよう進度を工夫するようにしている。

成績評価の基準・方法

（概要）

筆記試験・レポート提出・技術試験等により、その得点により優・良・可・不可の評語をもって表し、優・良・可を履修単位取得の合格としている。

卒業・進級の認定基準

（概要）

1・2年生は学年度末3月、3年生は年度後期2月に学校運営会議において学生の履修状況を確認している。

卒業については学則第24条に「授業科目の単位修得の認定を受けた者について、学

校運営会議の議を経て、卒業を認定する」と定めている。最終学年の終了時において履修認定をうけていない科目があった場合卒業を認めず原級にとどめることがある。

学修支援等

(概要)

入学時新入生ガイダンスの実施、入学後は異なる学年の学生数名でピアティーチンググループを作り、＜学生交流会＞と称して学習活動に関する意見交換会を年2回実施している。さらに、看護技術を教え合う時間を作るなどして教職員だけでなく、学生同士で学習活動を支えあう体制を作っている。

進路相談は担当者を中心に対応し、学習低迷者に対しては適宜面接を実施している。未履修科目がある場合、年度末に保護者にも同席してもらい、次年度の教育進度を説明するなどして学習活動がイメージできるようにしている。

学生カウンセリングを月2回開設している。1年生は4月～7月頃までに面談を実施。それ以外は希望する学生が利用する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
40人 (100%)	5人 (12.5%)	33人 (82.5%)	2人 (5%)

(主な就職、業界等)
病院（国立病院機構他、公的病院など）

(就職指導内容)

○ 2年次9月頃より進路を確定する3年4月頃まで進路ガイダンスを実施。
進路決定の考えかた、就職先を検討する際には各施設のインターンシップなど参加したり、仲介業者が主催している病院説明会などに参加したりすることを促している。また、熊本県においては、熊本地震後被災地など看護師不足があるため、熊本県担当者による説明会など学生の就職先の選択肢に入るように協力している。

(主な学修成果（資格・検定等）)
看護師国家試験受験資格

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
127人	6人	4.7%

(中途退学の主な理由)
進路変更のため

(中退防止・中退者支援のための取組)

- 学生カウンセリングの利用を促す。
- 個々の学生の悩みや相談内容に関する情報を会議や面接記録などで共有しやすくしている。これにより、学生の状況を教員がある程度わかったうえで対応できる。
- 状況に応じて学生の保護者と連絡をとり、協力して対応している。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科 (*1)	200,000 円	450,000 円	0 円	
看護学科 (*2)	200,000 円	500,000 円	0 円	
修学支援 (任意記載事項)				

*1: 2017 年度入学生, *2018 年度入学生

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kumamoto.hosp.go.jp/school/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) (実施方法) ① 教員による、自己点検自己評価を実施し、「教育理念・教育目的」「教育目標」「教育課程経営」「教授・学習評価過程」「経営・管理」「入学」「卒業・就業・進学」「地域社会・国際交流」の結果について前年度と比較分析する。 ② 学生による学校評価「カリキュラムに関すること」「施設・設備に関すること」「学生生活全般に関すること」「進路相談に関すること」「学校職員全般の対応に関すること」「学生支援体制に関すること」の結果について前年度と比較分析する。 ③ 国立病院機構附属看護学校間などで相互評価を実施する。 (平成 30 年度は所在地県内の養成所に評価を依頼したが調整できず、相互評価は未実施である。) (体制) ∴①～③について学校運営会議で報告し、評価を受けた結果を学校運営に活用する ∴学校運営会議で評価した結果はホームページで公表 (2020 年 5 月公表予定) する。 ∴学校評価について、「第三者評価委員会」を実施するよう体制を整備し、令和 1 年度末に開催予定である。 委員は委員として学校外より数名、学校職員として学校長、副学校長、事務長、事務主任、教育主事、学科担当教員、実習担当教員とし、学校長が選任し委嘱する。 学校外からは、教育に知見のある者、看護管理者、卒業生、その他学校長が必要と認める者である。 審議事項は、以下の内容である。 一 学校の教育理念・教育目的に関すること 二 学生の入学・卒業・進路に関すること 三 学生生活の支援に関すること 四 教育課程に関すること 五 教育活動に関すること 六 実習環境に関すること この委員会で報告し、評価を受けた結果はホームページで公表する予定である。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
熊本医療センター 副院長	1年	病院幹部
熊本医療センター 看護部長	1年	看護管理者
熊本医療センター 臨床研究部長	1年	教育、研究に知見がある
熊本医療センター 統括診療部長	1年	病院診療部統括者
熊本医療センター 教育研修部長	1年	教育、研究に知見がある
熊本医療センター 診療部長	1年	診療部医師
熊本医療センター 泌尿器科部長	1年	診療部医師
熊本医療センター 副看護部長	1年	看護管理者
熊本医療センター 企画課長	1年	病院財務等責任者
熊本医療センター 管理課長	1年	病院庶務責任者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kumamoto.hosp.go.jp/school/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kumamoto.hosp.go.jp/school/ 学校案内 (パンフレット) および募集要項は、電話またはホームページで住所や連絡先など確認させてもらい、郵送している。</p>
--

(1) 実務経験のある教員等による授業科目の配置

(独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校)

NO.	授業科目名	授業単位等		実務経験等	
		単位数	時間数	職種名	実務経験
1	看護学概論	1	30	看護師	臨床看護師、看護管理者、教育職を経験
2	日常生活援助技術論演習Ⅰ	1	30	看護師	臨床経験：循環器科等病棟勤務
3	日常生活援助技術論演習Ⅱ	1	30	看護師	臨床経験：整形外科、神経内科、重症心身障害児者病棟勤務
4	日常生活援助技術論演習Ⅲ	1	30	看護師	臨床経験：脳神経内科、呼吸器科・外科等病棟勤務
5	基礎看護技術論	1	30	看護師	臨床経験：産婦人科等病棟勤務
6	観察技術論演習	1	30	看護師	臨床経験：整形外科、循環器科等病棟勤務
7	問題解決技術論演習	1	30	看護師	臨床経験：脳神経内科、呼吸器科・外科等病棟勤務
8	臨床看護総論	1	(26)	看護師	臨床経験：内分泌代謝、整形外科、脳神経内科等病棟経験
9	診療補助技術論演習	1	(26)	看護師	臨床経験：整形外科、神経内科、重症心身障害児者病棟勤務
	合計	9	262	*時間数（ ）は30時間のうち担当する時間	